

印西市こども計画 ～いんざい こどもプラン～（案）

市民意見公募（パブリックコメント）の結果

案 件	印西市こども計画 ～いんざい こどもプラン～（案）		
募集の期間	令和7年1月15日（水）～ 令和7年1月30日（木）		
提出できる者	市内在住、在勤又は在学する者及び市内に事務所又は事業所を有する法人、その他の団体		
閲覧場所	子育て支援課窓口、行政資料室、各支所・出張所・公民館（本埜公民館を除く）・図書館、中央駅前交流館、市ホームページ		
提出方法	郵送・ファックス・直接持参・電子メール・意見回答箱		
意見の提出者	2名		
意見の提出数	5件		
意見の取扱い	区分	意見の考慮の結果	件数
	A	意見を踏まえ、案を修正するもの	1 件
	B	意見の趣旨が既に案に盛り込まれているもの	0 件
	C	今後の検討のために参考とするもの	0 件
	D	意見として伺ったもの	4 件

No	区分	ご意見の内容及び理由	ご意見に対する市の考え方
1	A	P46「家庭での教育・保育」に関するニーズ調査結果について、「市内にある幼稚園や保育園などの定期的な保育・教育の事業を利用されていますか」という質問に対し、「利用していない」という回答が22%であったことから、「約2割は家庭での教育・保育を行なっている状況」と分析されています。市内の施設を利用していなくても市外の幼稚園を利用している家庭は珍しくないと思いますが、こうしたケースの割合を把握された上での分析でしょうか。	利用していない方への設問の中で、市外施設を利用している方がいることも把握していますので、その旨を追記修正いたします。
2	D	1号児の入園需要と受け入れ態勢について P22に市内幼稚園の定員と在籍者数の記載があり、こちらを見ると、現在は市内のどの園にも受け入れ体制に余裕があるように見受けられます。一方で、私立園では定員内不合格、公立園は保護者による車送迎が難しくバスのルートも限られているために通園が困難などの理由で市内に通える園が見つからない場合も考えられます。希望者がもれなく市内で幼児教育を受ける機会を得られるよう、1号児の入園需要と受け入れ態勢についてはもう少し丁寧な議論をお願いしたく存じます。	今後の子育て支援の充実を図る上での貴重な意見として承ります。
3	D	基本目標3 子どもの育ちを社会全体で支えたとあります。 共働き家庭も増え、親が忙しくなっているせいか、学校・幼稚園でも役員などのなり手が減っています。保護者の負担を減らすために、逆に学校の負担が増えているように感じます。学校任せ人任せな現状です。少し前にはおやじの会・父母の会など保護者の有志が集まって学校が困っていること、手が届かないところをフォローする動きがありました。しかし、立ち上げても、軸になる人がいなくなるとなかなか継続していくのは難しいのが現状です。 そこで例えば、毎月一度自由参加の活動日があり、学校の掃除や草刈りなどをする。その月に何をするか、学校が困っているところを吸い上げるところを市に介入してもらおう。そうやって、保護者が学校を支える体制が少しずつ整い、地域皆で子どもたちを支えていけたら良いと思います。	市内各小中学校において、学校支援ボランティアの活用を行っており、保護者、地域の方には学校の環境整備、読み聞かせ、交通安全活動、運動・音楽などの部活動等様々な教育活動にご支援ご協力いただいております。

4	D	子ども・子育て環境の整備 に関して 国の政策なので仕方がないですが、保育所がどんどん増え母親が働きやすい環境は整っていく方向にあります。仕事をしていない人にも、子育てしやすい環境の整備をお願いしたいです。 子育て中に孤独にならぬように、市や市内の子育て団体とがもう少し連携をとるなどして事業を増やしたり、気楽に利用できるものの情報提供を工夫出来ると良いのと思います。 保育所が増える事や、幼稚園の低年齢化は働くお母さんのためにはなりますが、そうすることで「早くから預けなきゃ損」「みんな早くから働いているから、働かないと肩身が狭い」と早くから子どもを安易に預けることにつながっているようで、子どものためになっているのか、疑問に感じます。家庭内が忙しい空気があると、子どもの心は安定しません。 三つ子の魂百まで、という考え方は古く、時代に合わないかもしれませんが、働くお母さんが悪いということではありませんが、色々な子育ての仕方が選択しやすいような環境整備をお願いしたいです。大人も子どもも、みんなが心も身体も元気でいられるような市であって欲しいです。	子育て中に孤立しないよう、就労の有無にかかわらず、子育て当事者が気軽に相談等利用できる主な事業として、地域子育て支援拠点事業など実施しており、充実した事業実施のため子育てナビなどを活用しながら更なる周知等を図ります。
5	D	子育てコンシェルジュ の取り組みに関して このような取り組みがあったことを知りませんでした。予約制で場所指定ではなく、例えば図書館や子どもの検診時、出産前のパパ・ママ教室の時などに自由に解放された場で、相談事を聴きつつ様々な情報提供をしていただけるとありがたいなと思いました。 行政側だけではたいへんだと思いますので、市内の子育て支援団体などとも協力して行えると風通しもよくなり良いのではないかと思います。	子どもの検診時やプレママ教室時などでは、子育てコンシェルジュとは別に、保健師などの専門職員による相談を実施しております。